

令和3年度 保護者アンケートの結果

配布数 96 回答数 87

A:(そう思う) B:(ややそう思う) C:(あまり思わない) D:(思わない) (%)

評価項目		A	B	C	D
1	本園の教育目標や教育方針はわかりやすいですか	80.4	19.6	0	0
2	本園の教育活動や行事の内容は充実し、お子様は喜んで登園していますか	82.8	17.2	0	0
3	本園はお子様のありのままの姿を受け入れ、一人ひとりに応じた援助の仕方を工夫していると思いますか	88.6	10.4	1.0	0
4	本園はお子様の健康で安全な生活を保障するために、適切な対応ができていますか	89.7	10.3	0	0
5	教師は場に応じた適切なことばや態度、行動がとれていますか	90.9	9.1	0	0
6	教師は保護者の方の話を謙虚に聞き、お子様のようすを伝える工夫をしていますか	90.9	9.1	0	0
7	本園は今日的課題(アレルギー、自立の遅れ、障がいのある子どもへの理解、預かり保育や子育て支援、幼小連携、危機管理等)の研修・研究を行い、適切な支援ができていますか	88.6	11.5	0	0

【ご意見・ご感想】

- ・今後も定期的にアンケートや、役員会等で保護者からの意見を話し合ってもらいたい
- ・園外保育、絵本の読み聞かせ、美術系芸術遊び、リズム体操、放課後の課外教室等を充実してほしい
- ・遊戯会の衣装に性別による線引きが感じられ、ジェンダーレスの時代に、幼児期から固定的な意識をうえつけるのはいかがなものか
- ・普段のようすをもっと写真やことばで知りたい
- ・保育参観では、感染対策はありがたいが、もっと声やようすがよくわかるようにしてほしい
- ・けがをしたときは、お迎えの時などに状況を説明してほしい
- ・毎月、出席ノートのメッセージを楽しみにしているので、全体に向けてだけでなく、一人ひとりに向けたことばをお願いしたい
- ・バス通園なので、園でのようすをゆっくり聞けない
- ・もっと教育方針や特色を強く打ち出せば、たくさんの方に選ばれるようになるのではないか
- ・専門講師による各指導について、講師や活動内容について教えてほしい
- ・これまでどおり、しっかりと指導してもらいたい
- ・入口が教会と一緒にいるため難しいとは思いますが、門扉の施錠がないのが気になる

この他、個性豊かな子どもたちに、わけへだてなく丁寧に接し、一人ひとりとよく向き合って保育をしているようすが、子どもの話や、ホームページをとおしてよくわかり、感謝している。また子どもを通じて保護者もたくさんの学びを得て、本当に大切なことに気づかせてもらい、助けてもらっているというご意見を、たくさんいただき、励みになりました。

いただいた貴重なご意見につきましては、今後、検討・見直し・改善をまいります。

次年度も教職員一同、「主体的・対話的で深い学び」のある教育を目指していきたいと考えております。

お忙しいなか、保護者アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

令和3年度 自己評価・学校関係者評価公表シート

令和4年4月1日

学校法人聖母学園 高松聖母幼稚園

1 本園の教育目標

明るく逞しく、心豊かで調和のとれた、円満な人間性の基礎を育む

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 基本的生活習慣や基礎の充実を図る
- ・ 一人ひとりの育ちを全職員で共通理解し、多角的に見守り、一人ひとりに応じた支援を行う

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
I 保育の計画性	A	教育課程を見直し、教師間で話し合いながら全体的な計画を作成した。成長の見通しを持ちながら、学年間で共通認識を持って保育することができた
II 保育の在り方	A	子ども一人ひとりの良さを認め、尊重し、一人ひとりに応じた支援を行うなかで、「みんな一緒」と「一人ひとり」の両面の育ちを大切にしながら、クラス運営にとりくんだ 安全管理マニュアルに則り、施設設備の安全点検や感染症を防ぐ衛生管理に努めた
III 教師としての資質・能力	B	教師一人ひとりが自己有用感を持ち、園運営に参画しているという意識で、教育内容の向上と改善に主体的に取り組んだ
IV 保護者対応	A	がんばっている姿を積極的に伝えたり、園内で事故やけががあった場合は、状況を的確に報告したりして信頼関係を作っている
V 研修と研究	B	学んだことを研修報告にまとめ、自らの保育に生かしたり、職員間で共通理解したり、園の目標に向かって協力し合った 特別な支援が必要な子どもへの対応については、積極的に園内でも研修の機会をもち、保護者との連携をはかりながら、保育につなげていった

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	職員一人ひとりが自分の居場所を持ち、良さを発揮しながら、一人ひとりの子どもと向き合う保育を行った。年度当初に全体的な計画を作成し、子どもの育ちや課題について、全職員で情報共有しながら、教育内容を充実させていくために保育計画を実行しながら、随時見直しを行っている。

	特に特別支援教育については、講師を招いての園内研修を行い、計画から実行、評価、改善を全職員が同じ方向に向かって行える体制づくりを強化した。
--	---

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取組方法
1	自分自身やお互いの保育の良さと課題を明らかにする	公開保育にむけて互いの保育を見合い、多くの目で客観的に良さや課題について考え、自園の教育実践の質の向上につなげていく
2	園の教育内容の公開	園の教育をわかりやすく理解してもらう（園の特色を知ってもらう）ための発信の工夫（ホームページ、幼稚園要覧の見直し、子育て支援の充実、地域との連携等）に取り組み、幼稚園のことを知ってもらい、園に対して親しみを持ってもらう
3	教師としての資質・能力向上	教師一人ひとりが主体性を持って研修に参加し、得意なことや良さを生かし、協力し合う体制づくりを行う

6 学校関係者評価委員会の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで保護者からのフィードバックを受けるなど、園の教育に自信を持ち改善を忘れない姿勢は非常に評価でき、自己評価シートに取り組む姿勢にも真摯なものが見られる点も評価できる。 ・教育目標にはカトリック幼稚園としてのアイデンティティを示す必要があるように思われる。 ・本年度の重点目標にある「基礎の充実を図る」という文言は曖昧であり、内容が明確に分かるものとする必要がある。 ・教育目標・方針などをわかりやすく保護者にも伝えている。 ・子どものありのままを受け入れ、一人ひとりに応じた対応をしている。 ・教師と保護者とのコミュニケーションを密にとるよう工夫している。 ・教師としての資質の向上、研修にも心にとめているのが分かる。 ・「心豊かで調和のとれた」という教育目標に向かった、一人ひとりに応じた支援を、常に丁寧に取り組んでいるのがうかがえる。 ・全職員が情報共有と共通理解をし、教育力向上を目指して保護者との信頼関係を築きながら努力していると思われる。 ・特別支援教育についての保育も今後、特に期待して見守っていきたい。 ・取組状況から、園の中で、十分に教師同士の意思疎通ができており、子ども中心の保育にがんばっている姿が見える。 ・保護者からの良い意見が多いのは、保護者との対話ができている証拠だと思う。 ・バス通園している保護者から園のようすが聞けないとの意見があったので、何か解決する工夫を考える必要があると思う。
--